

令和3年度

栃木県運営適正化委員会事業報告書

栃木県運営適正化委員会

(社会福祉法人栃木県社会福祉協議会)

1 各委員会の実施状況

(1) 運営適正化委員会の開催

回数	期日・会場	内容
第1回	R3. 5. 11(火) とちぎ福祉プラザ 第2研修室	・令和2年度事業報告について ・令和3年度事業計画(案)について

(2) 運営監視委員会の開催

回数	期日・会場	内容
第1回	R3. 5. 11(火) とちぎ福祉プラザ 第2研修室	・令和2年度とちぎ権利擁護センター実績報告について (報告) ・令和2年度運営監視改善申し入れ事項に対する報告について (報告) ・令和3年度運営監視について
第2回	R4. 3. 9 (水) オンライン	・令和3年度運営監視結果について ・令和4年度運営監視の実施について

(3) 苦情解決委員会の開催

回数	期日・会場	内容
第1回	R3. 5. 11(火) とちぎ福祉プラザ 301 会議室	・新規審議 (2 件)
第2回	R3. 7. 6(火) とちぎ福祉プラザ 第2研修室	・継続審議 (2 件) ・新規審議 (2 件)
第3回	R3. 9. 14(火) とちぎ福祉プラザ 301 会議室	・報告事項 (3 件) ・継続審議 (1 件)
第4回	R3. 11. 15(月) とちぎ福祉プラザ 201 会議室	・報告事項 (1 件) ・巡回支援の実施について
第5回	R4. 1. 17(月) とちぎ福祉プラザ 301 会議室	・新規審議 (1 件) ・巡回支援の実施について
第6回	R4. 3. 14(月) とちぎ福祉プラザ 301 会議室	・継続審議 (1 件) ・巡回支援の実施について

2 運営監視事業の実施状況

(1) 基幹的社会福祉協議会への訪問調査

「運営監視委員会による訪問調査実施要領」に基づき、日常生活自立支援事業（あすてらす）を実施している基幹的社会福祉協議会への訪問調査を行い、調査結果に基づき改善依頼事項を通知した。また、栃木県社会福祉協議会に対しては、次の改善事項について通知を行った。

なお、令和3年度から令和4年度にかけて、あすてらす事業が13の基幹的社会福祉協議会への委託方式から全市町社会福祉協議会（25市町社会福祉協議会）への委託方式に変更になることから、全ての市町社会福祉協議会を1年おきに訪問することとした。

【基幹的社会福祉協議会訪問調査状況】

期日	訪問基幹的社会福祉協議会名
R3. 7. 27(火)	大田原市社会福祉協議会
R3. 8. 6(金)	さくら市社会福祉協議会
R3. 8. 26(木)	真岡市社会福祉協議会
R3. 9. 24(金)	栃木市社会福祉協議会
R3. 10. 12(火)	芳賀町社会福祉協議会
R3. 10. 29(金)	那須町社会福祉協議会
R3. 11. 5(金)	益子町社会福祉協議会
R3. 11. 18(木)	那須塩原市社会福祉協議会
R3. 12. 6(月)	宇都宮市社会福祉協議会
R3. 12. 14(火)	市貝町社会福祉協議会
R4. 2. 7(月)	鹿沼市社会福祉協議会

【栃木県社会福祉協議会に対する改善事項】

1. 預貯金通帳と印鑑の管理について

預貯金通帳と印鑑がそれぞれ同じ職員により管理されている基幹的社協本所、管内社協がありました。また、印鑑が会計責任者または出納責任者以外により管理されている基幹的社協本所、管内社協がありました。併せて、通帳・印鑑保管の金庫の鍵を同じ職員が管理している基幹的社協本所がありました。リスクマネジメントの観点から、それぞれ別の職員による管理（職員配置等により管理者の分離が困難な場合には、二者以上で定期的な確認を実施するなど）ができるよう御指導をお願いいたします。

2. 現金の保管について

現金の保管等について、書類上、取扱者等が確認できない基幹的社協がありましたので、リスクマネジメントの観点から、現金の預りや支払いの際に複数名で確認できる管理体制（書式の整備等）について、御指導をお願いいたします。

3. 日常使用する通帳の預金額が50万円以上となる利用者への対応について

日常使用する通帳の預金残高が50万円を超えている利用者について、県社協に協議書を提出していない基幹的社協がありました。また、別通帳へ預金を移動する際に、利用者への働きかけの記録を残していない基幹的社協がありました。特に、預金の移動については本人の理解や同意・不同意の状況が客観的に分かるように記録することについて、御指導をお願いいたします。

4. 日常使用する通帳以外の預り品の管理方法について

貸金庫内の預り品の出し入れや確認を職員1名で行っている基幹的社協が複数ありました。特に、貸金庫内の保管物品については監視の目が届きにくく、実際に保管している通帳から不正に預金を引き出す不祥事が発生しておりますので、適正な貸金庫の鍵の管理、複数名による預り品の出し入れや確認、通帳残高の定期的なチェック等が実施できる体制整備について、御指導をお願いいたします。

5. 支援計画の再評価及び見直しの適切な実施について

支援計画の再評価及び見直しを定められた時期に実施していない基幹的社協、利用者の生活状況が変化しているにも関わらず支援計画の変更がなされていない基幹的社協が複数ありましたので、適正に実施するよう御指導をお願いいたします。

6. 予算の確保（実施体制の強化）について

各基幹的社協から、生活支援員の確保と育成が困難であること、複雑・複合的な課題を抱える利用者や世帯が増加しているため一つ一つの支援に時間がかかることなどから、専門員にかかる負担が非常に大きいとの意見が出されました。その人的・時間的制約から、待機者が多かったり、申し込みから利用開始までに時間を要する例もありました。

適正な人員を配置し、必要な人に必要なサービスが時期を逸することなく行き渡るよう、実施体制の強化を図るための予算の確保について、引き続き御尽力をお願いいたします。

(2) とちぎ権利擁護センター契約件数 (R4. 3. 31 現在)

宇都宮	足利	栃木	佐野	鹿沼	日光	小山	真岡	大田原	矢板	那須塩原	さくら	那須烏山	下野
96	100	64	87	89	54	109	31	83	34	117	18	16	21

益子	市貝	芳賀	壬生	塩谷	那須	那珂川	計
17	11	19	3	7	26	9	1,011

3 苦情解決事業の実施状況

(1) 苦情相談等の概要

令和3年4月～令和4年3月の苦情及び相談受付件数は、総数 126 件であった。そのうち苦情として扱ったものは 67 件あり、その他は苦情まで至らない相談や、苦情解決制度に関する照会であった。(P. 8～9 参照)

(2) 啓発・広報活動

- ・苦情相談窓口周知のためのポスターを配布した。
- ・県内市町行政・社協へ苦情解決制度周知を依頼した。

(3) 研修会・セミナーの開催

事業名	期日・会場	内容	参加人数
福祉サービス苦情解決研修会	R4. 3. 1(火) ～15(火) 動画配信	講師 コミュニケーションサポートオフィス 喜山 志津香氏 内容 「クレームへの心構え」ほか	361人

(4) 巡回指導・巡回支援の実施

「福祉サービス苦情解決巡回指導及び巡回支援実施要領」に基づき、福祉サービス事業所を訪問し、苦情解決体制整備等への支援を行った。(社会福祉協議会 1 か所、障害 1 か所)

なお、訪問した 2 か所のほかに申し込みのあった 7 か所については、新型コロナウイルス感染症の影響により令和 3 年度の実施を中止し、令和 4 年度に実施することとした。

(5) 関係機関研修会・会議への参加

会議等名	期日・会場	内 容
介護サービス相談担当者連絡会(主催)栃木県国民健康保険団体連合会	R3. 7. 16(金) オンライン	(1)令和2年度介護サービスに係る苦情・相談の状況について (2)令和3年度事業計画について (3)事例発表
運営適正化委員会事業研究協議会(主催)全国社会福祉協議会	R3. 6. 28(月) ～7. 13(火) 動画配信	・行政報告「社会福祉を取り巻く状況と苦情解決の仕組みの取組方針」 厚生労働省社会・援護局福祉基盤課 ・説明「苦情受付・解決の仕組みの実施状況について」 全国社会福祉協議会政策企画部 ・説明「日常生活自立支援事業の現状と課題」 全国社会福祉協議会地域福祉部 ・講義「運営適正化委員会における苦情受付の現状と今後に向けた対応」 【講師】 福祉サービスの質の向上委員会 委員 平野 方紹氏
運営適正化委員会相談員研修会オンライン情報交換会(主催)全国社会福祉協議会	R3. 7. 13(火) オンライン	情報交換 テーマ「コロナ禍における運営適正会員化委員会の対応と課題、今後に向けて」
関東甲信越静岡ブロック運営適正化委員会委員長等連絡会及び相談員連絡会	R3. 10. 8(金) オンライン	・提出議題の協議 ・情報交換
令和3年度介護サービス相談市町担当者等研修会(主催)栃木県国民健康保険団体連合会	R3. 12. 3(金) オンライン	・講演「利用者や家族からのエンドレスな苦渋に対応する方法～権利意識の高まり・福祉への過度な要求に対応するために～」 【講師】 介護福祉系法律事務所おかげさま 弁護士 外岡 潤氏

(6) 福祉サービス苦情解決事業実施状況調査の実施

福祉サービス事業所における利用者等からの苦情に対応する体制整備状況を把握し、事業所に情報提供することにより、事業所におけるサービスの質の向上の取り組みとしての苦情解決体制の充実に役立てることを目的に社会福祉法人等を対象に調査を実施した。調査結果は報告書として取りまとめ、社会福祉法人等に配布した。

(社会福祉法人 357、公立保育所 101、施設等を経営する宗教法人・NPO 法人 27)

(7) 令和3年度苦情・相談受付件数

(月別対応状況)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
苦情	7	7	8	2	8	9	6	4	4	7	2	3	67
相談	9	5	9	5	5	5	4	2	5	2	6	2	59
計	16	12	17	7	13	14	10	6	9	9	8	5	126

(月別受付方法)

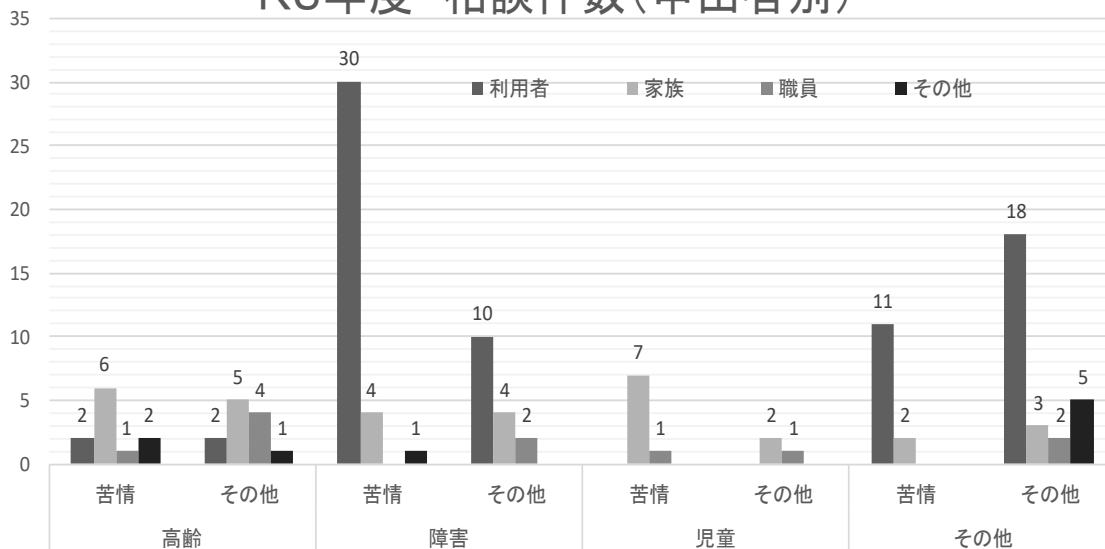
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	16	11	17	7	10	11	10	6	9	8	6	4	115
書面(※)					3	3				1	1	1	9
来所		1									1		2
その他													
計	16	12	17	7	13	14	10	6	9	9	8	5	126

※書面：郵便、FAX、メール

(申出者の状況)

	高齢		障害		児童		その他		計		合計
	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	
利用者	2	2	30	10			11	18	43	30	73 (57.9%)
家族	6	5	4	4	7	2	2	3	19	14	33 (26.2%)
職員	1	4		2	1	1		2	2	9	11 (8.7%)
その他	2	1	1					5	3	6	9 (7.2%)
計	11	12	35	16	8	3	13	28	67	59	126 (100%)
	23 (18.3%)		51 (40.5%)		11 (8.7%)		41 (32.5%)		126 (100%)		

R3年度 相談件数(申出者別)



令和3年度苦情・相談内容、対応方法別

事業所 種別	内 容	苦 情						その他 問合せ等 (※)
		受付	苦情解決の結果					
			相談助言	紹介伝達	あっせん	通知	その他	
高齢	①サービス内容（職員の接遇）	3	1				2	
	②サービス内容（サービスの質や量）	1		1				
	③説明・情報提供							
	④利用料	1						1
	⑤被害・損害	1					1	
	⑥権利侵害	2	2					
	⑦その他	3	3					11
障害	①サービス内容（職員の接遇）	13	5	1			7	1
	②サービス内容（サービスの質や量）	4	2	2				
	③説明・情報提供	7	1				6	1
	④利用料							
	⑤被害・損害							
	⑥権利侵害	4	1				3	
	⑦その他	7	6				1	14
児童	①サービス内容（職員の接遇）	2	1				1	
	②サービス内容（サービスの質や量）	1		1				
	③説明・情報提供	2					2	
	④利用料							
	⑤被害・損害	1	1					
	⑥権利侵害	1					1	
	⑦その他	1					1	3
その他	①サービス内容（職員の接遇）	5	1	1			3	
	②サービス内容（サービスの質や量）	2					2	
	③説明・情報提供							
	④利用料							
	⑤被害・損害							
	⑥権利侵害	1					1	
	⑦その他	5	3				2	28
R3年度 計	①サービス内容（職員の接遇）	23	8	2			13	1
	②サービス内容（サービスの質や量）	8	2	4			2	
	③説明・情報提供	9	1				8	1
	④利用料	1						1
	⑤被害・損害	2	1				1	
	⑥権利侵害	8	3				5	
	⑦その他	16	12				4	56
		67	27	6			33	1
								59

(※その他問合せ等＝一般相談や苦情に至らなかったもの)

- ・相談助言＝運営適正化委員会事務局による助言・相談
- ・紹介伝達＝他の専門機関への紹介、行政機関への伝達
- ・あっせん＝運営適正化委員会によるあっせん
- ・通 知 ＝都道府県知事への通知

令和3年度相談・苦情事例と対応状況（抜粋）

	相談・苦情事例	種別	対応
1	センター長の上からものを言うような言い方が気になる。	高齢	助言
2	ケアマネジャーが訪問日程を突然変えたり、対応が遅い。言動、態度がひどい。	高齢	事業所伝達
3	入所中の親が施設職員に病院に連れて行ってもらいそのまま亡くなったことについて話し合いに応じてくれない。	高齢	事業所伝達
4	ケアマネジャーが入居者に暴言を吐いたり、暴力を振るうなどしている。	高齢	行政へ情報提供
5	見学に行った施設で、利用者が自由に外出できないように鍵をかけているようだ。また、サービス提供していないのに料金を取っているなど違法なことをしている。	高齢	行政へ情報提供
6	入所中のきょうだいと連絡を取りたいが、身元引受人が反対しているからと言って、電話も面会も断られている。	高齢	他機関紹介
7	子どもがけがをしたことについて、園長と話をしたが、高圧的に対応をされた。	児童	助言
8	子ども同士のトラブルへの対応について謝罪がない。	児童	事業所伝達
9	見学に行った事業所できちんとした療育をしていない。	児童	行政へ情報提供
10	大切なことを文書で伝えてくれない。延長保育について柔軟な対応をしてほしい。	児童	事業所伝達
11	慣らし保育について、きちんとした事前の説明がなかった。	児童	事業所伝達
12	PCR検査の対象となった子の名前が入った名簿がすべての親に配布された。プライバシーへの配慮がない。	児童	事業所伝達
13	別事業所に移りたいと言ったのに引き留めにあい、いろいろ言われた。	児童	他機関紹介
14	体調が悪いので仕事を休みたいと連絡したのに、職員が仕事に来るように何度も電話をかけてくる。	障害	助言
15	職員からひどいことを言われる。また、すべてではないが、要望を聞いてくれない。	障害	助言
16	職員が差別的な発言をする。また、何の説明もなく契約解除を告げられた。	障害	助言
17	作業上の改善提案をし、職員は「分かった」と言ったのに提案を受け入れてくれない。	障害	助言
18	職員が利用者(子)と交際していた。当該職員は、交際しない、連絡しないと確約したはずなのにまだ連絡がある。何とか別れさせてほしい。	障害	事業所伝達
19	職員に何を頼んでも対応が遅い。言い方がきつく、冷たい。	障害	事業所伝達
20	職員に高圧的な態度、言動がある。	障害	事業所伝達
21	職員が自分の陰口を言ったり、からかうようなことを言う。	障害	事業所伝達
22	施設長が、精神障害者への理解が足りないのではないかとと思われる的外れなことを言う。	障害	事業所伝達
23	職員が不適切な言動をする。また、本人が望まない活動をさせる。	障害	事業所への助言
24	依頼した計画の作成が遅く、受給者証の手続きに影響が出ている。	障害	他機関紹介
25	ヘルパーが図々しい態度をとるため、事業所の代表者に苦情を言ったら、その後利用できなくなった。	障害	他機関紹介

令和3年度相談・苦情事例と対応状況（抜粋）

	相談・苦情事例	種別	対応
26	訪問してもらう相談員の人数を1名で希望しているのに、2名に変更された。	障害	傾聴
27	ほかの利用者から嫌がらせを受けて困っているのに、世話人、施設が何もしてくれない。	障害	助言
28	就労継続支援A型事業所の利用を希望しているのに、民間企業への就職を勧めてきて、手続きをしてくれない。	障害	傾聴
29	コロナワクチンの接種について施設の嘱託医による接種は出来ないと言われたが、どうしたらいいかのアドバイスがない。	障害	事業所伝達
30	退所について施設から連絡がくることになっていたのに、連絡がない。	障害	事業所伝達
31	事業所に復帰したいのに、事業所が復帰させてくれない。	障害	事業所伝達
32	コロナワクチン接種の翌日を休みにするかどうかについて、職員と事業所代表者の意見が食い違っていてどうしたらいいかわからない。	障害	事業所伝達
33	モニタリング資料が欲しいのに渡してもらえない。	障害	事業所伝達
34	朝礼でコロナワクチンを接種したかどうか手を挙げさせられた。接種するかしないかは個人の問題でないか。	障害	助言
35	職員が他の利用者 앞에서自分のプライバシーに関することを言う。	障害	事業所伝達
36	職員にパワハラまがいの暴言を吐かれる。	障害	事業所伝達
37	相談スペースがカーテンだけで話が筒抜けになっている。また、管理者が障害のある利用者に対する理解がない。	障害	事業所伝達
38	就労継続支援B型事業所には自治体から訓練等給付金が出ているのに、利用者への賃金が低すぎるのはおかしい。	障害	助言
39	今の事業所で別の担当者に変えてもらうか、別の事業所に移りたい。	障害	助言
40	利用者の見本となるべき事業所の代表者がひげをはやすなど、身だしなみをきちんとしていない。	障害	助言
41	事業所を解約することになったら、契約書及び重要事項説明書の原本を返却するように言われた。	障害	助言
42	以前利用していた施設に自分宛ての郵便が届いているはずなのに、届いていないと言われた。	障害	事業所伝達
43	生活困窮に関する相談中に「帰りたい」と言ったのに帰らせてもらえなかった。	その他	助言
44	貸付申請について、親身になって対応してほしい。申請に必要な書類をあらかじめ伝えておいてほしい。	その他	事業所伝達
45	「貸付申請が遅れたのはあなたが悪い」というような感じで言われた。言動を改めてほしい。	その他	事業所伝達
46	貸付申請に行ったら、家族構成等をこまごまと聞かれた。関係のない質問はしないでほしい。	その他	事業所伝達
47	食料をもらいに行ったら生活状況等について細かく聞かれたが、簡便な手続きにすべきではないか。	その他	事業所伝達
48	生活困窮者自立支援事業にかかわる自分の要配慮個人情報外部に漏らされた。	その他	事業所伝達
49	日常生活自立支援事業で印鑑登録等を自分一人でやりたいのに、職員と一緒になければだめだと言われた。	その他	事業所伝達
50	日常生活自立支援事業で預けていた通帳を見たら、不明瞭なお金の動きがあった。	その他	事業所訪問・確認

【参考】事業開始（H12.6）からR4.3.31まで

●種別・申出人の属性

事業所 申出人	利用者		家族		職員		その他		計	
	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他
R3年度	43	30	19	14	2	9	3	6	67	59
R2年度	57	22	22	4	3	7	2	4	84	37
R1年度	32	30	31	16	2	4		12	65	62
H30年度	25	9	28	5	1	2	10	12	64	28
H29年度	25	31	19	7	5	1	1	6	50	45
H28年度	24	10	20	3	2	6		1	46	20
H27年度	13	20	24	13	6	1	5	5	48	39
H26年度	12	10	14	12	3	7	3	3	32	32
H25年度	13	17	26	15	3	6	1	9	43	47
H24年度	25	5	11	1	7	3	3	5	46	14
H23年度	20	24	16	3	1	2	5	8	42	37
H22年度	10	29	25	22	5	12	3	12	43	75
H21年度	10	26	25	30	5	11	1	25	41	92
H20年度	13	14	23	27	5	50	13	10	54	101
H19年度	16	10	30	16	2	31	7	14	55	71
H18年度	10	3	22	5	2	20	5	13	39	41
H17年度	10	10	26	20	6	17	6	44	48	91
H16年度	7	21	19	54	1	42	7	30	34	147
H15年度	10	29	20	40	4	35	3	12	37	116
H14年度	8	14	14	36	1	32	3	23	26	105
H13年度	8	47	17	6	3	55	4	64	32	172
H12年度	3			2		53			3	55
合計	394	411	451	351	69	406	85	318	999	1,486

●苦情対象事業所の種別毎件数

	高齢		障害		児童		その他		計	
	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他
R3年度	11	12	35	16	8	3	13	28	67	59
R2年度	13	11	48	17	6	3	17	6	84	37
R1年度	11	15	33	30	12	5	9	12	65	62
H30年度	12	4	34	16	9	2	9	6	64	28
H29年度	11	5	25	29	8	2	6	9	50	45
H28年度	12	5	20	8	7	1	7	6	46	20
H27年度	13	6	25	8	5	2	5	23	48	39
H26年度	18	13	8	12	2	2	4	5	32	32
H25年度	14	5	25	11	1	4	3	27	43	47
H24年度	13	6	23	5	7		3	3	46	14
H23年度	15	6	18	23	4	3	5	5	42	37
H22年度	19	11	18	25	4	8	2	31	43	75
H21年度	12	13	16	28	9	18	4	33	41	92
H20年度	19	11	20	28	5	4	10	58	54	101
H19年度	16	12	23	10	2	3	14	46	55	71
H18年度	15	8	12	8	1	3	11	22	39	41
H17年度	18	22	22	32	3	6	5	31	48	91
H16年度	10	40	15	58	3	6	6	43	34	147
H15年度	12	31	12	46	4	10	9	29	37	116
H14年度	7	22	13	38	3	4	3	41	26	105
H13年度	12	13	13	55	3	42	4	62	32	172
H12年度	1	1	2	2				52	3	55
合計	284	272	460	505	106	131	149	578	999	1,486

●申出の内容、結果

年 度	内 容	苦 情							その他 問合せ等
		受 付	苦情解決の結果						
			相談助言	紹介伝達	あつせん	通知	その他	継続中	
R3年度 計	①②サービス内容	31	10	6			15		1
	③説明・情報提供	9	1				8		
	④利用料	1						1	1
	⑤被害・損害	2	1				1		1
	⑥権利侵害	8	3				5		
	⑦その他	16	12				4		56
	R2年度 計	①②サービス内容	39	19	7			13	
③説明・情報提供		22	11	1			10		1
④利用料		2	2						
⑤被害・損害		2	1	1					1
⑥権利侵害		9	2	5			2		
⑦その他		10	5	3			1	1	33
R1年度 計		①②サービス内容	43	21	3			19	
	③説明・情報提供	8	3				4	1	3
	④利用料	1		1					1
	⑤被害・損害	5	2	2				1	2
	⑥権利侵害	1	1						
	⑦その他	7	2	2			3		37
	H30年度 計	①②サービス内容	47	31	3			12	1
③説明・情報提供		4	2				2		1
④利用料		1					1		
⑤被害・損害		4	2	1			1		
⑥権利侵害		4		3			1		
⑦その他		4	3				1		25
H29年度 計		①②サービス内容	45	18	2		1	23	1
	③説明・情報提供	1					1		
	④利用料								1
	⑤被害・損害	2					1	1	
	⑥権利侵害								
	⑦その他	2		1			1		20
	H12年度 ～ H28年度 計	①②サービス内容	323	146	53		2	121	1
③説明・情報提供		61	30	14			16	1	33
④利用料		17	2	7			7	1	12
⑤被害・損害		45	16	12		1	15	1	25
⑥権利侵害		57	17	12		5	20	3	29
⑦その他		166	68	58	1		39		1,017
H12.6～ R3.3.31 合計		①②サービス内容	528	245	74		3	203	3
	③説明・情報提供	105	47	15			41	2	38
	④利用料	22	4	8			8	2	15
	⑤被害・損害	60	22	16		1	18	3	29
	⑥権利侵害	79	23	20		5	28	3	29
	⑦その他	205	90	64	1		49	1	1,188
		999	431	197	1	9	347	14	1,486

委員名簿 (R4. 3. 31 現在)

選考委員会委員名簿 (任期 : R2. 8. 29~R4. 8. 28)

分野	氏名	選出母体	備考
福祉サービス利用者代表	倉持 寿	栃木県心身障害児者親の会連合会	
	興野 憲史	栃木県精神保健福祉会	
社会福祉事業経営者代表	高澤 茂夫	栃木県社会福祉法人経営者協議会	
	岩崎 正日登	栃木県社会福祉法人経営者協議会	
公益代表	直井 勇	栃木県弁護士会	委員長
	島田 次秀	栃木県民生委員児童委員協議会	副委員長

運営適正化委員会委員名簿 (任期 : R2. 9. 26~R4. 9. 25)

No.	分野	氏名	所属	合議体
1	公益	小堀 義明	栃木県人権擁護委員連合会	苦情
2		茂木 明奈	白鷗大学	苦情
3		松江 暁子	国際医療福祉大学	監視
4		小野 篤司	宇都宮短期大学	苦情
5		檜山 和子	栃木県民生員児童委員協議会	苦情
6		篠崎 文男	栃木県社会福祉士会	苦情
7		増渕 祐子	栃木県社会福祉士会	監視
8	福祉サービス 利用支援団体	萩原 義秀	栃木県手をつなぐ育成会	監視
9		前田 則隆	栃木県身体障害者福祉会連合会	監視
10		小池 秀明	栃木県精神保健福祉会	監視
11	福祉サービス 提供者	池澤 守	栃木県地域包括・在宅介護支援センター協議会	監視
12		伊藤 淳一	栃木県障害施設・事業協会	監視
13		石綱 秀行	栃木県高齢者小規模ケアネットワーク	監視
14	法律関係	溝邊 岳秋	栃木県弁護士会	苦情
15		山下 雄大	栃木県弁護士会	監視
16	医療関係	小沼 一郎	栃木県医師会	監視
17		依田 祐輔	栃木県医師会	苦情
18		長竹 教夫	栃木県精神保健福祉士会	苦情

【運営適正化委員会】

委員長 : 溝邊 岳秋
副委員長 : 山下 雄大

【運営監視委員会】

委員長 : 山下 雄大
副委員長 : 小沼 一郎

【苦情解決委員会】

委員長 : 溝邊 岳秋
副委員長 : 長竹 教夫